

令和7年度 嘉手納高校 SDG s 研修旅行

1) 経緯

この事業は、令和4年度より県教育庁の「SDG s 研究指定」を受けて企画されたもので、本年度で3回目になります。

太平洋戦争を経験し、今なお、嘉手納基地が隣接する本校において、「すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くため」、そして防災・減災を学習するために、東日本大震災を学習する必要があるという結論に至り、研修旅行が企画実施されています。

2) 目的

- ① 沖縄県と異なる環境や文化、気候、歴史を持つ地域を訪問することによって、自分の生活する地域との違いや課題について考える。
- ② 東日本大震災の被災地を訪問し、津波や原発について学ぶとともに、嘉手納町の防災について考える機会とする。
- ③ 沖縄県にはない産業やサービス、交通手段を体験することにより、日本国内または世界へ目を向けることができる視野を持ち、新たなキャリアへ繋がる機会をつくる。
- ④ 仲間と協力して、計画を立て、集団で行動をすることで、協調する能力を育て、責任のある行動ができるようになる。

3) 日程 令和7年8月19日(火)～8月22日(金) 3泊4日

4) 対象 1学年 5名 2学年 5名 4月末～5月上旬募集

5) 引率 本校教諭 2名

6) 場所 福島県

7) 主な研修行程

- 1日目 相馬市観光協会プログラム（震災・防災×探究学習）
 - ・消防団慰霊碑、相馬市防災備蓄倉庫、慰霊碑/鎮魂祈念館 など
- 2日目
 - ・東日本大震災原発伝承館、請戸小学校、双葉町役場表敬訪問
 - ・福島県立ふたば未来学園高校との交流会 など
- 3日目 福島県の文化等学習
 - ・野口英世記念館、鶴ヶ城会館
- 4日目 東京都内研修
 - ・皇居東御苑、参議院会館（変更の可能性有り）

※昨年度の様子



被災した請戸小学校



震災語り部さんと記念撮影



相馬総合高校 交流会

7) 事前・事後研修

① 事前研修

- ①チビチリガマ、シムクガマ学習、かでな道の駅（平和学習）
- ②東日本大震災について学ぶ（DVDなどを活用）
- ③防災/減災について学習（HUGを活用）

② 事後学習

- ①総合学科発表会での研修報告
- ②嘉手納町社会福祉協議会との連携事業への参加